

教科目

〈男女、成年部共通〉

本校は下記のカリキュラムで、日本泳法を取り入れ泳力に応じて段階的に進級するシステムをとっています。進班試験を予科は毎日、本科は随時行います。

■ 予 科

級 班 別	指 導 内 容	進 級 進 班 試 験 科 目
3 班	<ul style="list-style-type: none"> ●泳ぎのための諸注意 ●水なれ ●水かけ ●かおつけ ●沈み方 ●伏し浮き ●立ち方 ●クロールキック 	クロールキック(5メートル)
2 班	<ul style="list-style-type: none"> ●クロールキック(距離泳ぎ) ●クロール(手足総合と呼吸法) 	クロール(15メートル)
1 班	<ul style="list-style-type: none"> ●クロール(手足総合と呼吸法、フォームの完成) 	クロール(25メートル)

■ 本 科

級 班 別	指 導 内 容	進 級 進 班 試 験 科 目	
初 級	3 班	<ul style="list-style-type: none"> ●クロール(距離泳ぎ) ●まき足(耐水) ●ターン 	クロール(50メートル) 耐水合格者のみ まき足(型試験)
	2 班	<ul style="list-style-type: none"> ●クロール(距離泳ぎ) ●耐 水 ●スタート(飛び込み) 	クロール(100メートル計時泳法型試験) 耐 水(1分間泳法型試験) スタート(飛び込み) 型試験
	1 班	<ul style="list-style-type: none"> ●平 泳(かえる足) ●クロール(距離泳ぎ) ●立 泳 ●スタート・クイックターン 	かえる足(キック板使用) 立 泳(3分間泳法型試験) クロール(100メートル計時) スタート(飛び込み) 型試験・クイックターン
中 級	2 班	<ul style="list-style-type: none"> ●平 泳(手足総合) ●立 泳(前後進、左右) ●クロール ●背泳キック ●スタート・クイックターン 	平 泳(100メートル泳法型試験) 立 泳(5分間泳法型試験) 背泳キック(型試験) スタート(飛び込み) 型試験・クイックターン
	1 班	<ul style="list-style-type: none"> ●背 泳(手足総合) ●クロール ●平 泳 ●立 泳 	背 泳(25メートル泳法型試験) ク ロ ール(100メートル計時) 平 泳(競泳・50メートル計時・泳法型試験)
上 級	<ul style="list-style-type: none"> ●バタフライ(手足総合) ●クロール ●背 泳 ●平 泳(競泳及び日本泳法) ●立 泳 ●伝 馬(回旋) ●鷗 泳 	バタフライ(50メートル泳法型試験) 平 泳(競泳・50メートル計時) 背 泳(50メートル計時) ク ロ ール(100メートル計時) 伝 馬(回旋) 鷗 泳	

■ 高等科

	指 導 内 容	卒 業 試 験 科 目
指 導 者 コー ス	<ul style="list-style-type: none"> ●競 泳：クロール、平泳、背泳、バタフライ ●日本泳法(能島流) 平体泳法：平泳、拔手一ツ掻、拔手二ツ掻 立体泳法：立泳 横体泳法：横体一重伸 手 泳 法：伝馬(回旋) 応用泳法：静拔手、舞鶴、鷗泳 潜水泳法：掻 伸(かえる足) ●学 科：水泳史、水泳各論 ●溺者救助法 (離脱法、運搬法、蘇生法) ●指導法実習 	競 泳 日本泳法 受験生に別途通知します ※卒業試験の受験資格は小学5年生以上

その他能島流泳法：鱧飛、二ツ掻、伝馬(回旋)、拔手真・行・草(静拔手・拔手一ツ掻・拔手二ツ掻)浮身諸体

2010年7月

入 学 願 書

○ 毎日新聞社 浜寺水練学校長殿

私は今回貴校に入学いたしたく、保護者の連署で入学許可をお願いします。入学後は学則をよく守ります。

校 内 の み こ 記 入 下 さ い。 (○印をつけて下さい)	初 回	ふりがな			性 別	男 女	生 年 月 日			歳	
	2 回 目	氏 名					年 月 日			歳	
	3 回 目	校 園 名							年 生		
	4 回 目	保 護 者	氏 名			電 話	(自宅) (携帯)				
	5 回 目		住 所	〒()							
	6 回 目										
	7 回 目 以 上										
○	昨年度階級	予科3班・2班・1班	初級3班・2班・1班	中級2班・1班	上級	高等科	短 期	4～6歳	1期・2期・3期	日本泳法	1期・2期

●入学手続き後の入学金の返還は、いかなる場合も行いません。●この入学願書に記入いただいた情報を元に来年度の入学案内をさせていただきます。以上の点をご了承下さい。

第104回 (2010年度)

毎日新聞社浜寺水練学校 入学案内

受付期間 6月26日(土)～7月4日(日)、午後1時～5時

場 所 堺市西区浜寺公園町 府営浜寺公園プール内 **浜寺水練学校事務所** (下図参照)
(南海電鉄・浜寺公園駅、阪堺電軌・浜寺駅前駅下車)

申込方法

1. 現地受け付け
 - イ. 入学願書
 - ロ. 入学金(授業料含む)
 - ハ. 過年度身分証明書(過年度在学者)
 - ニ. 印かん
 を御持参下さい。
2. 郵便振込みによる申し込み
 - イ. 所定の払込取扱票をご利用下さい。
 - ロ. ワッペン、身分証明書は送付します(約2週間後)
 ※4～6歳短期の振込み申し込みに関し6月16日(水)で締め切りますのでご注意下さい。

内 容

- 長期水泳教室……競泳に日本泳法を取り入れた独自のカリキュラムで進級します。
- 4～6歳短期水泳教室……顔つけ水慣れからかえる足まで楽しく指導します。
- 日本泳法水泳教室……能島流日本泳法(古式泳法)を学びます。

長期水泳教室ご案内

●期 間 7月19日(月)～8月19日(木)

- 午前 午前10時～正午
(初級1班、中級2・1班、上級、高等科、成年部)
- 午後 午後1時30分～3時30分
(予科3・2・1班、初級3・2班、高等科)

※7月18日(日) 開校式
 ※8月9日(月) 授業参観
 ※8月19日(木) 終業式
 ※8月23日(月) 卒業式
 ※土曜日、日曜日、7月20日(火)は授業が休み

●対象者 予 科=小学生以上男女
 本 科=本校予科修了者
 高等科=本校本科修了者
 成年部=中学生以上、一般男女

●授業料 20,000円

●入学上の注意● (長、短期共通)

- 入学希望者は疾病その他身体に異常のないことを確認のうえ、お申し込み下さい。
- 入学手続き後の入学金の返還は、いかなる場合も行いませんので、ご了承下さい。
- 下記に該当する場合、教授会の決議により退学を命じることがあります。
 1. 授業中、教員の指導に従わず、勝手な行動をとる者
 1. 品行不良で改しゅんの見込みのない者
 1. 入学後、病気その他の理由で授業に不相当と認められる者
- 授業中の生徒の負傷、事故については応急処置をします。

●問い合わせ●

(6月26日以降)

毎日新聞社総合事業局事業部 06・6346・8371 水練学校事務所 072・261・9531

※浜水公式ホームページを開設中。<http://hamasui.jp/> をのぞいてみて下さい。入学案内もプリントアウトできます。 e-mail o.hamasui@mainichi.co.jp

短期水泳教室ご案内

4～6歳短期水泳教室

●期 間

- 第1期 7月19日(月)～7月24日(土)
※7月20日は休み
- 第2期 7月26日(月)～7月30日(金)
- 第3期 8月2日(月)～8月6日(金)

いずれも各5日間、午前10時～11時30分

●対象者 4～6歳の幼児(小学生を除く)

●授業料 1期につき 6,000円
 継続の場合は5,000円

日本泳法水泳教室

●期 間

- 第1期 7月19日(月)～7月30日(金)
※7月20・25日は休み、7月24日は授業がありません。
- 第2期 8月2日(月)～8月13日(金)
※8月7・8日は休み

いずれも各10回、午前10時～正午

●対象者 25m以上泳げる方

●授業料 1期につき 12,000円
 継続の場合は10,000円

天候により中止の場合も振りかえは出来ませんのでご了承下さい。

■定期券購入について

南海電鉄、阪堺電軌の定期乗車券(7月18日～8月19日までの定期)の購入は7月11日～7月19日まで、浜寺水練学校が発行する身分証明書を持参の上、次の駅で購入できます。

(南海電鉄定期券発売駅)

●堺・羽衣 窓口営業時間/6:30～19:00

(阪堺電軌定期券発売駅)

●浜寺駅前 窓口営業時間/月～土10:00～13:00、14:00～19:00
(日・祝発売なし)

●天王寺駅前 窓口営業時間/月～土8:00～13:00、14:00～19:00
日・祝9:00～13:00、14:00～17:00

●南霞町 窓口営業時間/月～土7:00～11:30、12:30～19:00
我孫子道 日・祝9:00～11:30、12:30～17:00

【毎日新聞社浜寺水練学校の概要】

毎日新聞社浜寺水練学校は明治39年に開設され、今年で第104回を数えます。この間、「なかよく学び、元気に泳ごう」をモットーに心身両面にわたる訓練で、37万人を超える生徒を指導し、開校以来無事故という輝かしい実績を誇っています。「浜水」の最大の特長は、努力次第でどんどん進級でき、卒業すれば本校の先生になれることです。多くの先輩が、生徒を教えることで指導力を身につけ、社会に巣立っています。又、日本泳法部、シンクロ部、水球部の専門部が年間を通して活動しています。

